

個別事業説明書【PR版】

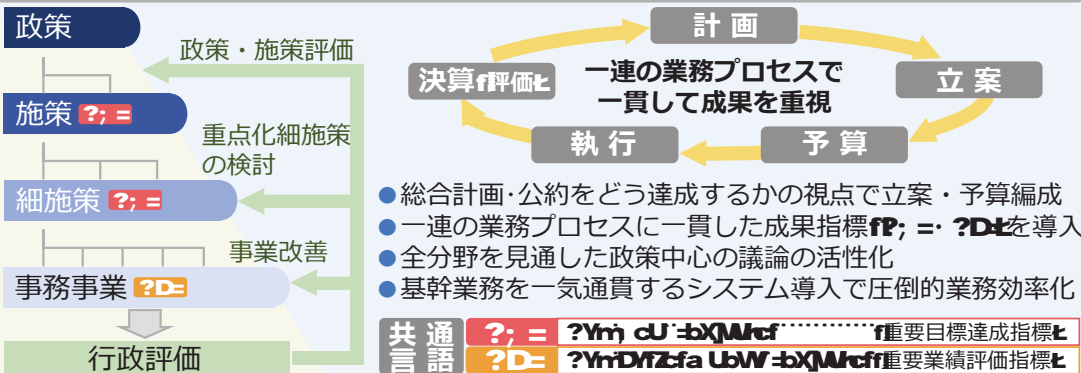
総務部

\$, -!-%&?% \$

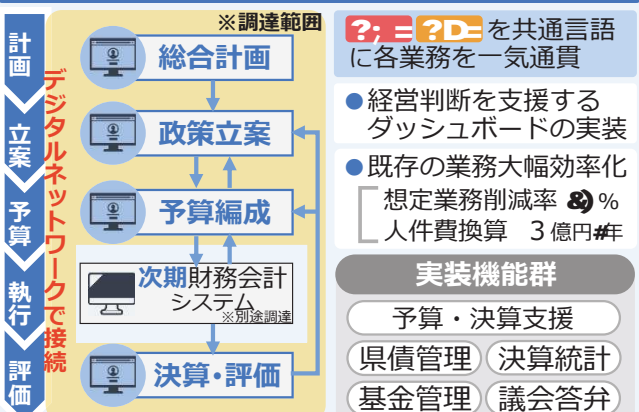
?D=

\$\$\$ F*

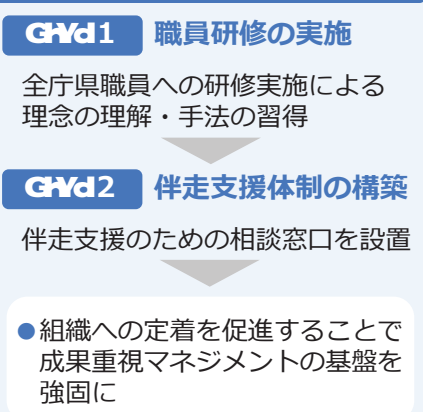
成果重視マネジメント全体コンセプト



基幹業務を総合的にマネジメントするシステムの構築



伴走支援体制等の整備



756,404

f&l
f&l

GDF

システム導入スケジュール	R4	R5	R6	R7
① GDF・SL方針の検討	部局横断で方針検討			
② システム化要件定義	要件定義	リリース調整	予算編成機能	決算・評価機能
③ システム構築		開発	開発	アジャイル改善
			リリース	リリース

13,361

f&l
f&l

fi と

5,539

債務負担行為限度額の設定 (千円)

	R5	R6	計
新システムの開発等	+)*Z\$('\$+Z-O	%)\$*(Z(-
伴走支援体制等	%Z*%)	%Z*%)	&*Z+&&
その他)Z'-)Z'-
合計	++)Z\$('&Z\$*	%)\$*Z*%)

持続可能かつ質の高い社会資本整備にあたり、自然災害の激甚化や人口急減など社会経済情勢の目まぐるしい変化を踏まえた上で、建設行政従事職員の政策企画能力と現場技術力の向上を図るため、現行システムを刷新し、関連システムと一体的に運用できる新建設事業総合管理システムを構築する。

お問い合わせ先
 総務部行財政改革局
 行革分権課行政管理室
 (089-912-2227)

?D- 開発進捗率

現状値 -
 目標値 100% (R6年度)

- 現状課題**
- ・システム間の連携が不十分
 - ・データ蓄積・抽出機能が不十分
 - ・制度改正等へのシステム改修が不十分
 - ・新たなニーズや未対応業務への対応
 - ・市町とのシステム共同利用の更なる推進

- ・データを一元管理し、無駄・ミスを排除
- ・情報分析に基づく制度改正、業務改善
- ・最新の制度等に対応し、業務を最適化
- ・非対面型の拡充、格付・契約業務等の効率化
- ・システムを共通化し、市町・業者の利便性を向上

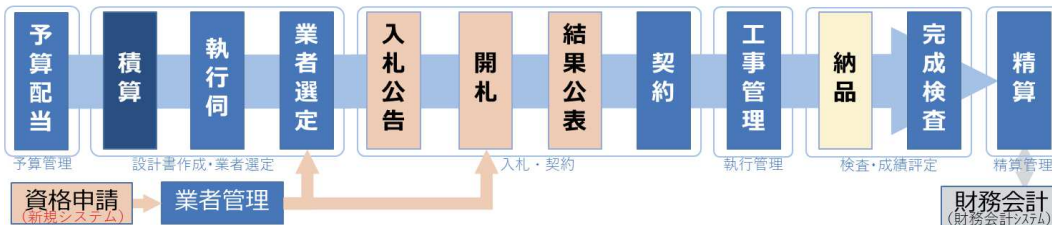
データ連携により業務を一気通貫し、効率化とミスの抑制を徹底

を進めるため、と
 に注力できる体制を整備

想定業務削減率 36%
 人件費換算 1.3億円/年

新建設事業総合管理システム、入札参加資格設定システム(新規)、評定点算定システム

土木設計積算システム 電子入札システム、入札情報公開システム 電子納品利活用システム
 農業土木設計積算システム 入札参加資格審査申請システム(新規)



【デジタル社会形成推進基金充当事業】

公募型プロポーザル方式で入札を実施し、システムに精通し優れた技術を有する事業者を選定するため、事業者選定委員会を設立し、審査を行う。

業務分野が多岐に渡ることから、部局横断体制で委員会・WGを設立し、システム開発事業者との各種調整を行う。

システム開発事業者の作業を専門・技術的な見地からマネジメントするための技術支援業務を委託する。

システム化計画書、基本設計書及び調達仕様書に基づき、詳細設計、システム構築、データ移行、運用テスト等を行う。 ※R5～R6の2か年計画（債務負担行為限度額 453,073千円）

		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度～
スケジュール	現行システム	[Progress bar from R4 to R6]			
	新システム	[Start at R5]	[Progress bar from R5 to R7]		
事業費	新システム構築費(2か年)	0	299,071	453,073	R4～R6 事業費計
	関連システム改良費(単年)	0	12,100	39,020	
	その他経費	71,940	11,411	11,369	
	計	71,940	322,582	503,462	

3 県庁第二別館整備事業費

2,550,190

41

2

3

089-912-2150

事業イメージ

?D-

1 R4.12
100 R7

整備の基本的な考え方（新庁舎の機能強化等）

DX

新庁舎の規模及び構造

	51.5m

スケジュール

	令和4年度(2022)	令和5年度(2023)	令和6年度(2024)	令和7年度(2025)
解体	←→			
新築		←→		



事業概要

- 1 庁舎解体外工事（～R5.12） 431,131千円
- 2 新築外工事（R5.10～） 1,983,941千円 R5 R7 3
- 3 仮庁舎移転等経費 132,241千円 7,927,291
- 4 事務経費 2,877千円

総事業費 約98億円 → 約113億円

官民共創拠点のイメージ

15



089-912-2210

KPI +3 12 / R4 R5 8

【県・市町連携推進本部の取組み】

R5

地域経済の活性化
ウィズコロナ・アフターコロナへの対応
デジタル技術の活用

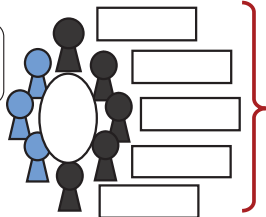
31

連携により解決につながる政策課題

連携創出作業部会・連携推進アドバイザーの設置

市町職員等が共同で連携施策を検討

県・市町の事業に
精通する有識者



共通の課題を有し、
前向きに課題解決に
取り組もうとする市
町等と共同で、連携
施策の創出を促進

【これまで】 県・各市町単体でのみ連携施策を検討

2,309

R

本部会議	知事・ &\$ 市町長
幹事会	各市町の連携担当課長・市町振興課長
チーム会	庁内関係部局主幹級職員
ワーキンググループ	県・各市町の課長級職員（本部長が指名）
●	

496

519

PT



成果連動型民間委託推進事業費

24,420

PFS/SIB)

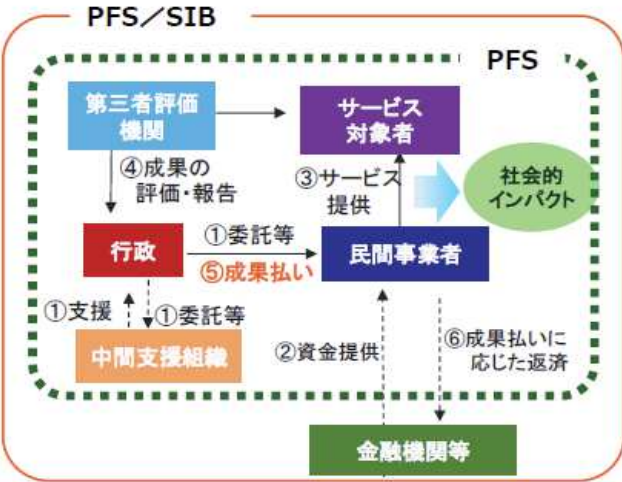
089-912-2238

事業イメージ

KPI PFS 2 / R8

PFS (Pay-For-Success) /SIB (Social-Impact-Bond) とは

スキーム図 期待される効果



PFS/SIBに期待される効果・意義

- 民間事業者の積極的活用による高い成果（アウトカム）の創出
- 社会課題解決への民間事業者の参画とノウハウの蓄積
- 予算執行の効率化
- 成果指標の設定やデータの整備・活用によるEBPMの推進

©Development Bank of Japan Inc.

PFS R4

	44.2%	59.9%	52.9	42.9	27.4
	49.4%	38.0	43.6	53.6	58.9
	6.4%	2.1	3.5	3.5	13.7

事業概要

1 実践セミナー・個別相談会の開催 ((~~2~~8\$千円)

PFS/SIB

PFS

PFS/SIB

6

8

2 PFSモデル事業の実施 (8\$2\$\$\$千円)

6

10,000

02

5

R2 5

3,616,396

089-912-2221

KPI

100

94.4 R2
100 R5 8

Ö

単価及び生徒数の増減



予算額推移

	R	R2	R3	R4	R5
単価 (高)	' ' % &	' ') &	' ((&	' (- &	') (&
(中)	' & + %	' ' % + \$	' ' + %	' (& % -	' (* % %
生徒数 (高)	- \$, -	, \$, -	, \$, +	, \$, +	, \$, &
(中)	% * %	%))	% + \$	% * \$	% ')
予算 (千円)	' \$' \$ \$ \$	' \$' \$ (&	' \$' \$ % \$	' \$' (\$ *	' \$' % \$ - *

' \$' % \$ \$ -)' + \$ &

16

354,027

53,055

346,101

52,539

(\$, + & % &

462

792

198

' \$' % \$ - *)' - \$ &

354,027 8,702

346,101 1,535

(462 8,514

792 188

198 1,535

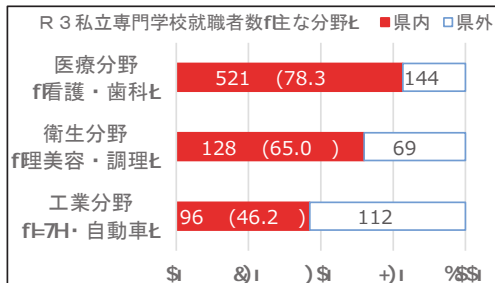
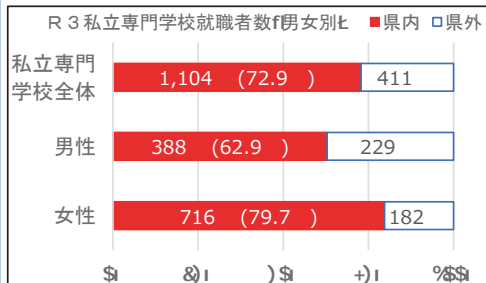


4,000

089-912-2221

?D= 1 /

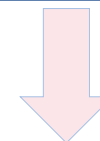
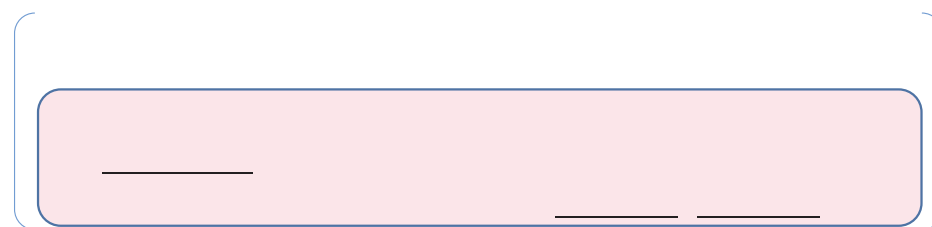
74.9% R4
77.9 R7



(20 24)

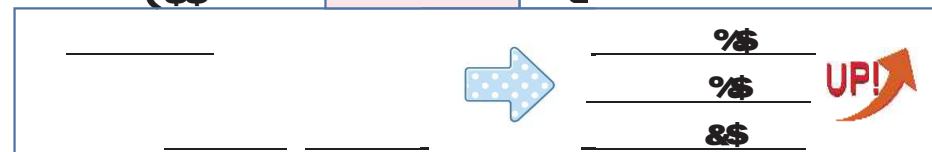
(Z\$\$\$)

14



(\$\$

ö



UP!

UP!